

令和6年3月市議会定例会 記者会見市長あいさつ

日 時：令和6年2月26日（月） 午後1時30分

場 所：市役所ホール棟2階 大会議室

本日は、御多用中にもかかわらず、御出席をいただき厚く御礼申し上げます。

また、皆様には、喜多方市政に対しまして、御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。

はじめに、元日に発生いたしました令和6年能登半島地震により犠牲となられました方々の御冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災され、いまだ避難生活を余儀なくされている方々に対しまして、謹んでお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

この震災に対する本市の支援についてであります。会津喜多方商工会議所青年部から支援の相談を受け、去る1月5日、市が備蓄する500ミリリットルのペットボトル「喜多方の水」6,000本を石川県の被災地に送ったところであります。

また、福島県が富山県氷見市からの応援要請を受け、県内自治体職員による「応援チーム」を取りまとめ、ローテーションにより随時、派遣を行っており、本市におきましても、1月30日から2月5日までにわたり、職員2名を派遣し、災害支援業務に当たったところであります。

さらには、被災された方々を支援するため、去る1月9日から本庁社会福祉課及び各総合支所住民課の窓口などで義援金の受付を行っているところであり、引き続き、被災地の一日も早い復旧・復興のため、支援を行ってまいります。

さて、本日は、3月市議会定例会に提案を予定しております議案の概要について、御説明申し上げますが、その前に、令和6年度の市政運営にあたっての考え方について申し上げます。

本市を取り巻く社会経済情勢は、急激な人口減少と少子高齢化が進む中、これまでのコロナ禍やウクライナ情勢、円安を背景とした、原油・物価高騰に伴う日常生活や経済活動等への影響に加え、中東情勢の緊迫化及び長期化、昨年の記録的な猛暑にみられる

異常気象や気象災害の頻発化及び激甚化、生成A I 等によるデジタル社会の急速な進展など、極めて大きく変化しております。また、SDG s の推進やカーボンニュートラルの実現、大規模災害への対応強化、自治体DXへの取り組みなど、行政課題も山積しております。

このような中、私は、引き続き「真の公平さの追求」、「地域力を最大限に生かす」、「国・県等との連携を広げる」の3つを市政運営の基本理念とし、「オール市民でのまちづくり」を心がけ、市民の皆様一人ひとりの声や提言に真摯に耳を傾け、市政に反映させるため、市民並びに議会、各種団体及び企業の皆様と行政がともに知恵を出し合いながら、市民の皆様が安全に、安心して暮らせるふるさとづくりを一層推進するとともに、企業誘致や産業振興による雇用の確保、子育て支援や定住促進などの人口減少対策をはじめ、将来を見据えた持続可能なまちづくりを進めてまいります。

これらの政策を実行するためには、安定した財政基盤が必要となりますので、引き続き行財政改革に取り組みながら、将来の世代へ負担を先送りすることのないよう、財政健全化の取り組みを進めるとともに、限られた財源の下において、事業の重点化・選別化を進めてまいります。また、財源については、自主財源の確保に努めることはもとより、国や県に対し、自治体間における行政サービスの格差が生じないよう、本市にとっての事業の必要性・重要性をしっかりと伝え、要望してまいります。

市政運営の基本方針といたしましては、「喜多方市総合計画」を政策の軸に据え、複雑・多様化する市民ニーズをしっかりと見極めながら、地域課題に対して一つひとつ丁寧に対応し将来への憂いを残すことのないよう、行財政運営に努めてまいります。

それでは、3月市議会定例会に提案を予定しております議案の概要について、御説明申し上げます。

今回、提案予定の議案等の件数につきましては、別紙のとおり、「令和6年度 喜多方市一般会計予算」議案など、45件であります。

はじめに、「議案第3号 令和6年度喜多方市一般会計予算」の概要について申し上げます。

令和6年度当初予算につきましては、歳入におきまして、個人市民税及び法人市民税は増収、固定資産税は減収を見込んでおります。

各交付金においては、地方消費税交付金について、交付実績及び国、県の交付見込から減額を見込み、交付金全体としても減額を見込んでおります。

また、歳出におきましては、予算編成方針に基づき、事業の重点化・選別化を図り、最少の経費で最大の効果を得ることを念頭に置き、喜多方市総合計画に基づく諸施策及び新市建設計画に掲げる各事業の着実な推進を図るために要する経費を計上するとともに、住民福祉の向上に不可欠な経費の確保に努め編成を行いました。

その結果、令和6年度の一般会計予算の総額は265億4,600万円となり、令和5年度当初予算と比較いたしますと1億7,200万円の増額となっております。

次に、令和6年度において重点的に取り組む施策の概要について、総合計画の大綱に沿って申し上げます。

はじめに、大綱1「地域の特性を生かした力強い産業づくり」についてではありますが、人口定住に結びつく持続可能な経済活動の実現に向け、基幹産業である農業の振興や林業の再生、企業誘致やものづくり産業の更なる発展、地域資源を活用した魅力ある観光の推進や街なかの賑わい創出などにより、新しい産業や雇用の確保、所得の向上を図ってまいります。

令和6年度は、主な新規事業として、飼料価格高騰による影響を緩和するため、「飼料価格高騰緊急特別対策事業」をはじめ、新たにインバウンド受入体制の整備やインバウンド誘客PRなどの取り組みを進めてまいります。また、きたかた喜楽里博マスコットキャラクター「みんべえ」を新たに市公認キャラクターに移行し、本市の地域活性化及び認知度向上を図ってまいります。

次に、大綱2「地域を支え未来を拓く人づくり」についてではありますが、「まちづくりは人づくり」の理念のもと、次代を担う子どもたちのため、良質な教育環境を整備するとともに、市民一人ひとりが、郷土の偉人や歴史、文化に学び、心豊かで充実した人生を送っていただけるよう、学習機会の提供や主体的に活動できる環境整備を図りながら、生涯にわたりふるさとに愛着と誇りをもって様々な分野で活躍する、本市の未来を

支える人材の育成を目指してまいります。

令和6年度は、主な新規事業として、「小中学校施設長寿命化事業」や「学校プール共同利用等試行事業」など、教育環境の整備を進めるとともに、本市学校給食基本方針に基づく本市ならではの特色ある学校給食の全市展開を図るため、「からだが喜ぶ健康給食推進事業」などの取り組みを進めてまいります。

次に、大綱3「安全・安心、思いやりのある、人にやさしいまち・くらしづくり」についてであります。保健、医療、介護、福祉の充実と連携、災害等への備えの強化など、日々のくらしにおける安全を確保し、若い世代が安心して子どもを産み育てることができる環境や、高齢者が元気に生きがいをもってくらせる環境づくりを推進するとともに、生活や産業などを支える社会基盤の維持・充実により、だれもが快適に生活しやすいまちづくりを進めてまいります。

令和6年度は、主な新規事業として、結婚に伴う新生活を経済的に支援するため、「新婚新生活支援事業」をはじめ、医師不足を解消し地域医療体制の維持・充実を図るため、「常勤医師応援事業補助金」や「オンライン診療支援事業」の実施、さらには、近年増加している野生動物による被害防止のため、「鳥獣害対策マップ事業」などの取り組みを進めてまいります。

また、全額公費負担が終了することとなる新型コロナウイルスワクチン接種について、接種を希望する高齢者等の経済的負担を軽減するための事業も新たに創設いたします。

次に、大綱4「自然との共生と元気なふるさとづくり」についてであります。市民が主体的に行うまちづくりや市民活動を支援し、地域間の連携・交流や、大学、企業等との協力・提携、移住者の受入れなどにより、魅力的で持続可能なまちづくりを推進するとともに、生活環境や自然環境、地球環境へ配慮した取り組みを進めるなど、自然との共生を図りながら、市民と行政との協働による活力あふれるまちづくりを進めてまいります。

令和6年度は、主な新規事業として、本市在留外国人からの雇用・医療・福祉・子育て等の生活に係る相談に対応するため、「外国人受入環境整備（一元的相談窓口設置）

事業」などの取り組みを進めてまいります。

次に、総合計画の実現に向けた取り組みといたしましては、計画に掲げる諸施策を確実に実行し、将来の都市像に向けて着実な進展を図るためには、持続可能な行財政運営とその基盤となる「活力ある市役所づくり」を進めるため、ワーク・ライフ・バランスの下、職員の挑戦する意識・意欲を醸成するとともに、政策形成能力及び課題解決能力の向上等を図るため、引き続き、国の省庁や県へ職員を派遣いたします。

また、社会情勢の変化や市民ニーズに的確に対応できる効率的な組織体制の確立や人材育成の推進、全庁的な連携により、情報の透明化・共有化を図るとともに、部局間及び本庁と総合支所間の緊密な連携を図りながら、行政運営を行ってまいります。

さらに、「DX推進基本計画」に基づき、行政手続のオンライン化やAI等のデジタル技術の活用を促進し、市民の皆さまの利便性向上や業務の効率化を図るとともに、業務効率化によって生み出された時間や人員の活用により、市民サービスの一層の充実を図ってまいります。

また、関係人口の増加と自主財源の確保を図るため、首都圏等の若い世代をターゲットとしたシティプロモーションを実施いたします。

次に、各総合支所において実施する、地域の発展に向けた事業として、観光資源の維持保全及びイベントの更なる磨き上げなどによる魅力ある地域づくりや、防災体制の強化による災害に強いまちづくりなど、それぞれの地域課題の解決に資する取り組みを進めてまいります。

引き続き、故き（ふるき）を温ね（たずね） 新しきを創る（つくる）、「温故創新」の精神のもと、先人の努力から学び、知恵を出し合い、歴史や文化、豊富な地域資源を生かした柔軟な取り組みに挑戦しながら、子どもからお年寄りまで全ての市民が笑顔にあふれ、「生まれてよかった」「住んでよかった」と思えるような、「ふるさと喜多方」、「わくわくする喜多方」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

次に、議案第15号 令和5年度喜多方市一般会計補正予算（第11号）につきましては、歳入歳出とも5億6,898万1千円の減額補正で、累計におきまして286億4,514万6千円と相なります。

今回補正の主なものについて申し上げます。

はじめに、土木費につきましては、道路橋梁維持経費におきまして、橋梁長寿命化修繕実施設計業務委託料1,900万円を追加計上いたしました。

次に、教育費につきましては、中学校管理経費におきまして、中学校体育館バリアフリー化・LED照明等改修工事に要する経費6,700万円及び体育館管理経費におきまして、塩川体育館アリーナLED照明改修工事に要する経費1,783万1千円を計上いたしました。

歳入におきましては、主なものとして市税1,075万円、法人事業税交付金3,324万3千円及び地方交付税1億3,920万円を追加計上するとともに、国庫支出金1億1,444万6千円、県支出金9,628万2千円、繰入金4億552万1千円及び市債1億4,680万円を減額計上いたしました。

また、年度内に支出が終わらない見込みの事業費について、繰越明許費予算を計上いたしました。

次に、条例議案についてであります、「議案第27号 喜多方市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例」など、18件であります。

次に、単行議案についてであります、「議案第45号 権利の放棄について」など、3件であります。

以上、提出議案の概要について、御説明申し上げましたが、詳細につきましては、担当部長等より説明いたさせますので、よろしくお願い申し上げます。